

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬駅周辺まちあるき促進景観向上事業
事業主体 (連絡先)	白馬町景観向上チーム (松沢 斉 0261-72-2159)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	8,090,693 円 (うち支援金 : 5,000,000 円)

事業内容

白馬駅前の無電柱化事業に伴って撤去される街路灯を新たなものに再整備するとともに、白馬駅周辺の街路にプランター植栽を設置し、街路だけでなく街並みを構成する店舗等にも花と緑をあつらえることで環境豊かに「まちあるき」ができる街路空間を創出しました。

- 街路灯設置数 10 基
- 街路灯建柱作業への地域住民延参加者数 : 50 名
- 植栽設置作業への地域住民延参加数 : 20 名
- 街路植栽設置に併せて植栽を設けた店舗等数 : 5 か所



【街路灯点灯の様子】

【目標・ねらい】

- ①白馬駅前景観価値の向上
- ②住民主体のまちづくり気運向上
- ③公共事業の付帯価値創出

事業効果

【街路灯及び植栽整備】

公共事業に対して地域が主体的に付加価値を創出し、無電柱化工事、歩道のデザイン舗装を行政が、そこに景観価値を生み出す街路灯と植栽の整備を地域住民がそれぞれ主体的に行うことで街路景観の向上はもちろんのこと、地域発案による官民連携での「まちづくり」が具現化したことによって白馬村全体のまちづくりに対する気運の向上が得られた。

※自己評価 【A】

【理由】
 白馬駅前無電柱化構想は検討から 10 年を要し、そこに付帯する街路空間の整備を地域が主体的に行ったこと、関連イベント等の開催についても官民連携のモデルケースとして非常に充実した事業となった。

今後の取り組み

今回の元気づくり支援金事業による街路灯整備及び植栽の実施によって県公共事業である街路の無電柱化、歩道のデザイン舗装と併せて白馬駅前全体の街路空間整備が改めて目に見える形となりました。

本事業は街路空間整備のキックオフツールとして元気づくり支援金を活用させていただきましたので、今後については地域財源を主体に少しずつ街路灯の整備を進めていき、少なくとも県無電柱化事業実施区間については数年をかけて街路灯の整備を進める計画です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある